

国立大学法人 長崎大学

文教キャンパス

〒852-8521 長崎市文教町1-14

ダイバーシティ推進センター

tel:095-819-2889

mail: omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp

わたしたちは
みんなちがう。

LGBT+ Guidelines Vol.2 2022年03月発行

LGBT+ Guidelines

長崎大学

LGBT等性的マイノリティに関する

対応ガイドライン

Vol.2



わたしたちは みんなちがう。

趣味がちがう、特技がちがう。
笑いのつば、泣ける映画がちがう。
性格なんて全然ちがう。
性的指向や性自認も、
わたしたちはみんなちがう。

長崎大学の性的少数者（LGBT等）の 性自認及び性的指向の多様性に 関する基本理念

長崎は、歴史の舞台において
「海外への窓口」としての役割を果たすなかで、
多様性を受け入れる風土を醸成してきました。
ダイバーシティの尊重と推進を、
今後の持続的発展のための
必須の戦略と位置付ける長崎大学は、
LGBT等の性的少数者の性自認や
性的指向の多様性と権利を認識し、
偏見と差別をなくすために努力することを
基本方針として提示します。
長崎大学は、この基本方針を踏まえ、
すべての学生や教職員の個性と能力が
存分に発揮できる真のダイバーシティの実現を目指し、
学修、研究及び就業の環境整備に取り組んでいきます。

I LGBT等に関する概要

LGBT等とは？

LGBTという言葉を知ったことがある人は多いと思
いますが、具体的にどの程度知っているでしょうか。
LGBTとはレズビアン（Lesbian）、ゲイ（Gay）、バイ
セクシュアル（Bisexual）、トランスジェンダー
（Transgender）の頭文字を取ったもので、性的マイ

ノリティ（セクシュアル・マイノリティ、性的少数者とも
言う）を表す総称としてよく使用されている表現で
す。ただし、この4つのカテゴリー以外にもさまざまな
性（セクシュアリティ、ジェンダー）のあり方があります
（詳細については P.14 を参照）。そのため、このガイ
ドラインでは、LGBT等やLGBT+と「等」や「+」をつけ
て4カテゴリーにおさまらないその多様性を示すこと
にします。

誰にでも関わることとして

性的マイノリティに限らず、すべての人は性的指向
（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）
を持っています。この2つを合わせてSOGI（ソジ）
と言います。性的指向とは誰を、あるいはどういった
対象を好きになるか、性自認とは自分の性別を
どのように考えているか、です。多くのマジョリティは
性的指向は異性（ヘテロセクシュアル）、性自認は
生まれたときに割り当てられた性別と一致（シス
ジェンダー）していますが、そうではない人がいます。
そのような人びとが性的マイノリティです。
LGBT等性的マイノリティはどのくらいいるでしょ
うか。電通が実施した「LGBTQ+調査2020」では、
8.9%という結果が出ています。この割合は調査に
よって少しずつ違いますが、およそ6~9%で、日本
における左利きやAB型の割合と同じくらいとも
言われています。長崎大学の場合、教職員はおよそ
3,200人、学生は9,000人在籍していることから、
性的マイノリティが7%いるものとして計算すると、
教職員で230人、学生で630人が当事者です。
決して少ない数ではありません。

Ⅱ 長崎大学におけるこれまでの取組

本学では、ダイバーシティ推進センターを中心に、2019年に「長崎大学の性的少数者(LGBT等)の性自認及び性的指向の多様性に関する基本理念」および「LGBT等性的マイノリティに関する対応ガイドライン」を定め、当事者がよりよい環境で勉学できるよう務めてきました。2021年度、LGBT等性的マイノリティについて当事者以外にもより理解していただく必要があると考え、ガイドラインの改訂版を作成することにしました。

性的マイノリティに対する配慮とはどのようなことでしょうか。たとえば、戸籍とは異なる通称名を使用したり、性別にかかわらず「〇〇さん」といった統一した呼称で呼ばれることで性別を意識せずに過ごせたり、SOGIについて侮辱的な言動(SOGIハラスメント)やアウティングを受けたりしないような環境を作ることです。アウティングとはSOGIについて本人の承諾なく暴露することで、SOGIハラスメントとアウティングは2020年に改正された労働

施策総合推進法(通称「パワハラ防止法」)においてもパワハラにあたる可能性があるものとして明記され、これらを含むパワハラ対策がすべての企業に義務づけられています。

本学の性的マイノリティにかかる取組は実はもっと以前から行われています。本学のハラスメント防止委員会は他大学と比べても早い時期に「長崎大学ハラスメント防止ガイドライン」の中にLGBTの存在を否定する言動、LGBTに対する侮蔑、差別意識及び嫌悪感を含む言動、LGBTであることの人格利益を否定する言動といった「性的指向若しくは性自認に関する偏見関係」は「ハラスメントになり得る言動」と明記しています。

SOGIにかかわらず誰もが教育、研究、仕事に邁進できるよりよい環境を作るため、本学はガイドラインを制定し、より一層ダイバーシティ環境の形成に取り組んで行きます。

長崎大学では基本理念に基づき、
以下の内容を、
対応のガイドラインとして
設定しています。



Ⅲ 相談窓口について

① 相談窓口

本学では、ダイバーシティ推進センター、保健センターの2か所にLGBT等に関する相談窓口を設置しています。各窓口では、LGBT等をめぐる問題に詳しい1~2名が担当となっています。

ここでは、主に学生や教職員とその家族を対象としてLGBT等に関する相談を受け付けています。相談に際しては、大学への所属を確認する必要がありますが、守秘義務を遵守するとともに相談者のプライバシーを尊重し、安心して相談できるように配慮いたします。授業、研究、仕事の場で、LGBT等に対する否定的な言動や、性的指向・性自認(SOGI)に関する偏見で傷ついたり、悩んだり

していること、また、当事者ではなくても、「カミングアウトされたけれど、どうすればいいかわからない」「困っている当事者を知っているが、自分に何ができるかわからない」等の相談についても、P.6の2か所の窓口で相談することができます。

この2か所の窓口は連携しており、各窓口だけでは解決が難しいと判断した場合には、相談者の許可を得て、他の窓口と連携し、対応にあたります。通称名の使用については最終的にダイバーシティ推進センターから各部局への通知を行います。対応までの時間は相談内容によって異なりますが、通称名の使用については2週間ほどで対応可能です(詳細については学生はP.8を参照)。

② 連携体制

相談内容によって、学内外の機関と連携しながら対応いたします。連携の範囲や内容については事前に本人と確認し、本人の了承を得た上で関係機関と連携いたします。



相談 条件や共有の範囲を確認

内容に関係なく、相談しやすい窓口どうぞ。

LGBT等の相談窓口

ダイバーシティ推進センター
文教キャンパス

☎ 095-819-2889

相談のある方は、事前にメールで予約するか、センターに直接お越しください。LGBT等に関する担当者のみがメールを見ます。

E-mail omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
WEB <http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp>



保健センター
文教キャンパス

☎ 095-819-2211

相談のある方は事前予約が必要です。予約の方法についてはホームページをご覧ください。

WEB http://www.hc.nagasaki-u.ac.jp/counseling/counseling_guide



調整・連携 必要に応じて、本人とともに

- 各学部・指導教員・実習委員長
- 人事・学務課
- ハラスメント防止委員会
- 障がい学生支援室
- キャリアセンター
- 留学支援課
- 専門医療機関・病院
- その他・学外の機関
- セルフヘルプグループ

学生何でも相談室
文教キャンパス
☎ 095-819-2106

E-mail nandemo@ml.nagasaki-u.ac.jp

※長崎大学ハラスメント防止ガイドラインに違反する言動などについては、ハラスメント防止委員会でも相談を受け付けています(詳細は P.17 参照)。

長崎大学ハラスメント
防止委員会

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/life/advisement/check/index.html>



◆例えば、次のような相談を、どのように解決していけるのか、一緒に考えます。

- 戸籍上の氏名ではなく、自分が望む名前を大学の書類や、授業での呼称に使用したい。どのような手続きをすればいいのか。
- サークルの先輩から、繰り返し「彼女をつくった方がいい」とアドバイスされて嫌だ。サークルは続けたいが、誰に相談していいかわからない。どこに相談したらいいか。
- 大学の研修施設を使ってゼミの合宿があるが、部屋割りが、男女別になる。自分は、Xジェンダーなので、どちらに割り振られても違和感を覚える。どこかに相談したい。
- 大学生生活は、自分の望む性別の服装で過ごすことができている。介護体験や教育実習も同じようにしたい。どこに相談したらいいだろうか。
- 来年から就職活動が始まる。ふだんは、あまり性別が強調されない服装をしている。けれども、戸籍上の性別に合わせたスーツや髪形をしたほうがいいのか、それとも自分がのぞむ格好で行っても大丈夫なのか、不安である。
- 職場の同僚が、私が同性パートナーと同居していることを私の了解を得ないで他の人に伝えたので、ショックを受けており、働きづらくなった。どこに相談すればいいか。
- 友人にゲイだとカミングアウトされた。どのようにふるまえばいいかわからず困っている。

③ 学内設備

更衣室

ダイバーシティ推進センター(文教キャンパス)のスペースを更衣室として使うことができます。一部のトイレにフィッシングボードが備わっていますので、そちらを着替えにご利用ください。フィッシングボードの備わったトイレの場所についてはダイバーシティ推進センターのホームページに記載されています。長崎大学では、個別の更衣室の設置について今後も検討していく予定です。



トイレ

本学には性別にかかわらず誰でも使用できるトイレが設置されています。学内施設の設置場所は、下記の大学ホームページおよびダイバーシティ推進センターのホームページに記載されています。



IV 通称名の使用について

通称名の使用を希望する場合には、P.6 相談窓口にて相談の上、「通称名使用申請書」を相談窓口へ提出してください。入学前でも構いません。面談の上、使用を認めるかを判断します。詳しくは下の図をご参照ください。なお、性同一性障害による家庭裁判所の決定に基づく改氏名は、通常の改氏名の届出にて対応します。また、認められた通称名と戸籍の原本との相違に関する説明責任は当該学生が負うことになりますので、しっかり考えた上で申請してください。

通称名の使用を認められた者の学生名簿、学生証、学位記および各種証明書に記載する氏名は、原則として認められた通称名とします（教員免許状、源泉徴収票については法令等の定めにより戸籍上の氏名を表示する必要があります）。通称名を使用する学生で、学位記に戸籍上の氏名の

記載（あるいは併記）を希望する場合は、所定の申請書により申請してください。また、保証人（保護者）に送付する成績証明書を含む各種証明書に戸籍上の氏名の記載（あるいは併記）を希望する場合は、所定の申請書により申請をしてください。卒業・修了等時に通称名を使用していた学生に係る証明書等の氏名については、原則として卒業後等も通称名とします。ただし、性別違和等で本人に多大な負担が生じる等の相応の理由があると認められる場合には、本人が申し出た氏名による証明書を発行することもあります。まずはご相談ください。

通称名を使用する学生および卒業生等から、通称名の使用を認められている、または、認められていたことの証明の依頼があった場合は、所定の証明書を交付します。

学生本人がすること

通称名使用申請書の提出

ダイバーシティ推進センター
保健センター

上記窓口にて面談

相談者の希望内容や方針を確認し、
ダイバーシティ推進センターへ通知

※申請内容については、限られた担当者のみが対応にあたります。相談者の守秘義務を遵守すると共に、相談者のプライバシーを尊重します。

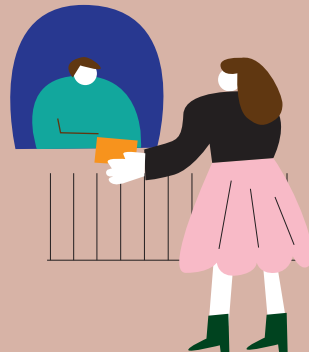
ダイバーシティ推進センター長が
意見書を作成し、
学長及び所属学部等へ通知

学長が使用の可否を決定

※ただし、通称名使用の承認は、学部長・
研究科等の長に先決させることができる

所属学部等の学務担当から、
通称名使用の可否を
相談者に伝える

通称名使用が承認された場合
教育支援課、及び学部・研究科等は、
学籍簿等の情報を変更する



V 性別の変更と性別情報の取扱

戸籍の性別の変更に伴う場合を除いて、学籍簿等での性別の変更は対応できません。

ただし、長崎大学では性別情報については当事者の意図しない形で公表されないことがないよう、受講者名簿、健康診断書、学生団体設立願、通学証明書、合宿所や研修所の利用願等の性別記載の必要性を見直し書類の性別欄をなくしました。2021年度現在、大学で作成している名簿や書類に性別欄はありません。

性別による呼び分け

学生に配付・掲示する名簿に性別の記載がなくとも、性別による呼び分け（「～さん」、「～くん」、「Mr.～」、「Ms.～」、「彼」、「彼女」、「He」、「She」）によって、本人の意図しない形で性別情報を外部に知らせてしまうことがあります。とくに大規模の講義など、相手のジェンダーアイデンティティが明確に分からない状況においては、「彼」や「彼女」

なお、日本学生支援機構（JASSO）での奨学金申請書類を入力するスカラネットには、男女の性別の選択欄がありますが、回答は任意です。また、学生に配付・掲示する名簿については、原則としていかなる文書についても性別欄を除外して配付・掲示するよう、全学的に周知・徹底を図ります。教員の会議等についても、性別情報を含む個人情報については慎重に取扱うことを進めます。

でなく、すべて「～さん」または「～くん」に統一して、その人の名字を呼ぶことが望ましいです。英語の場合には「They」や「Ze」を使用することも考慮に入れましょう。長崎大学は、性別による呼び分けが不必要に行われないよう周知・徹底を図ります（詳細はP.18 参照）。

性別による統計情報（ジェンダー統計）の収集・分析と公表について

大学としてよりよい施策や支援を検討する目的で、学生・教職員の性別による在籍率の偏り、性別による意識や進路の違い等を明らかにするため、本学在籍者の性別情報を収集・分析し、公表することがありますが、いずれも数値化した統計情報であり、個人を特定して性別情報を公表することはありません。

電車・バス通学定期券

長崎大学は、大学近隣の電車・バス会社に対応を依頼し、通称名の学生証にもとづき、通称名で定期券を発行することを可能としました。詳しくは、お役立ち情報 P.23 を参照してください。

マイナンバー

長崎大学で短期雇用により雇用される場合等でマイナンバー関係の書類を提出する際、通知カードや個人番号カード等に含まれる性別欄は、その部分を隠してコピーし、提出することができます。

Ⅵ 授業について

① 授業での対応

本学では、授業内容、グループ分け、用具の使用等において性別による区別が不要に行われないう周知を図ります。更衣室については本ガイドラインのⅢ-③の項をご確認ください。詳細は、P.6の相談窓口までご相談ください。



② 実習の履修

(教育実習、病院実習、乗船実習、学外実習等)

実習受け入れ先の体制や状況により必ずしも希望に添えるとは限りませんが、教育実習を含めた学外での実習で想定されるトイレや更衣室、服装等に関して事前に相談することができます。詳細は、P.6の相談窓口までご相談ください。

Ⅶ 学生生活について

① 定期健康診断

本学で実施する定期健康診断について、必要に応じて個別対応を事前に相談することができます。詳細は保健センターまでご相談ください。

② 学生宿舎(ホルテンシア)・国際交流会館

宿舎の入居については、ホルテンシア(多文化社会学部学生用)は学生支援センター、国際交流会館は留学支援課までご相談ください。ただし、個別の状況により対応できないこともあります。

学生支援センター(ホルテンシアの場合)

☎095-819-2106(内線2106)

E-mail seikatsu@ml.nagasaki-u.ac.jp

留学支援課(国際交流会館の場合)

☎095-819-2123

E-mail ryugaku_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp



Ⅷ 就職活動・留学

① 就職活動・インターンシップ

就職活動やインターンシップ、その他進路選択等における性まつわる相談については、キャリアセンターと連携し、必要に応じた個別支援を行います。キャリアセンターでは定期的に研修を受けた専門職員(orキャリアカウンセラー)が相談対応します。また、LGBT等フレンドリーな企業に関する情報収集も行っています。

キャリアセンター相談窓口

☎095-819-2101

E-mail syusyoku@ml.nagasaki-u.ac.jp

WEB <https://www.career.nagasaki-u.ac.jp/student/consultation/>



WEB



② 留学

留学支援課では、留学先で必要とする生活環境や学習支援体制などの相談にも対応しています。留学プログラムの企画元や協定校によって受入れ状況が異なるため、事前に参加希望のプログラムや受入れ先の状況を調べるのが重要です。必ずしも希望に添えるとは限りませんが、留学を希望する学生でサポートを希望する場合は、ダイバーシティ推進センターと留学支援課が連携しながら対応していきます。

留学支援課

☎095-819-2123

E-mail ryugaku_shien@ml.nagasaki-u.ac.jp

IX 教職員および学生への啓発

① 相談員、教職員に対する研修

本学では教職員に対し、LGBT等性的マイノリティに関する研修(スタッフ・ディベロップメント〔SD〕)を実施しています。また、アンコンシャス・バイアスに関する研修は、令和4年度より、教職員全員に義務化されています。

今後、ダイバーシティ推進センター、保健センター、学生支援課、キャリアセンター、ハラメント相談員、学生相談(何でも相談)員に対し、LGBT等性的マイノリティに関する研修を徹底していくことにより、より適切な対応ができるようにしていきます。

② 学生への教育

学生に対しては、LGBT等性的マイノリティの抱える問題等について、各種講演会や授業での取り扱い状況等を紹介していきます。

WEBから、長崎大学で受講できる、LGBT等性的マイノリティの抱える問題等や、ダイバーシティに関するテーマを取り上げている授業のシラバスをご覧ください。



X みんなの問題として考えるために

① 語句の解説と考え方

LGBTとは?

すべての人は、生まれたときの見かけ上のからだの性別、性的指向(どういった対象を好きになるか)、性自認(自分の性別をどう捉えているか)を持っています。マジョリティの人は生まれたときの見かけ上のからだの性別と性自認が一致し、性的指向は異性です。からだの性別と性自認が一致することをシスジェンダー(Cisgender)、性的指向が異性であることをヘテロセクシュアル(Heterosexual)と言います。

近年よく耳にする「LGBT」とは性的マイノリティ(セクシュアル・マイノリティ、性的少数者とも言う)を表す総称としてよく使用されている表現で、レズ

ビアン(Lesbian、同性愛の女性)とゲイ(Gay、同性愛の男性)はヘテロセクシュアルに対してホモセクシュアルとも言います。バイセクシュアル(Bisexual)は男女どちらも好きになる人です。また、生まれたときの性別と性自認が一致しない人をシスジェンダーに対してトランスジェンダー(Transgender)と言います。トランスジェンダーには男性から女性で生きることを望む人(MTF: Male to Female)と女性から男性で生きることを望む人(FTM: Female to Male)がいます。LGBTはこれら4つのカテゴリーの頭文字を取ったものです。

SOGIとは?

「LGBTとは」の項で説明したとおり、性のあり方は多くの人が思っているよりもかなり多様で、LGBTという4つのカテゴリーどころか、いくつのカテゴリーをもってすべての性のあり方をカバーすることはできません。自分がシスジェンダーでヘテロセクシュアルだと思っているマジョリティの人の中にも実は多様な性のあり方があります。あなたの隣に同じ性別の人がいたとして、あなたと同じような「男らしい」あるいは「女らしい」格好をしているのでしょうか。同じように異性を好きになるとして、どのようなところを好きになるかといった指向は本当に同じでしょうか。

性的マジョリティかマイノリティかは関係なく、すべての人に性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)があることから、頭文字をとってSOGI(ソジ)と呼びます。ここに、どのような

装いをするかといった性表現(Gender Expression)の頭文字を含めてSOGIE(ソジー)と呼ぶこともあります。LGBTを例にあげると、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアルは性的指向の問題、トランスジェンダーは性自認の問題です。性的指向と性自認は別に考える必要があります。つまり、性自認が男性でも女性を好きになるとはかぎりませんし、MTFのトランスジェンダーが女性を好きになることもあるということです。

SOGIEは、性的マイノリティもそうでない人も含めてすべての人が多様な性の当事者であることに焦点を当てた言葉です。ここで重要なのは、性的マイノリティにはLGBT以外にいくつの種類があるのかを覚えるということではなく、すべての人が自分と他人のSOGIEを尊重ようになることです。

多様な性のアイデンティティ

ここにあげた性的アイデンティティは、ごく一部で、実際にはもっと多様です。

性的指向について

レズビアン	Lesbian	性自認は女性で、性的指向は女性という人
ゲイ	Gay	性自認は男性で、性的指向は男性という人
バイセクシュアル	Bisexual	性的指向が男女両方の人
クエスチョニング	Questioning	性自認または性的指向が決められない、分からない人
パンセクシュアル	Pansexual	性的指向が男性・女性といったカテゴリーにかかわらず様々な性のあり方の人に対して向かう人
アセクシュアル/エイセクシュアル	A-sexual	人に恋愛感情を抱かない人
ヘテロセクシュアル	Heterosexual	性指向が異性の人

性自認について

トランスジェンダー	Transgender	身体の性は男性または女性、性自認は女性または男性、性指向は問わない 身体は男性で性自認は女性 = MtF (Male to Female) 身体は女性で性自認は男性 = FtM (Female to Male)
ノンバイナリー Xジェンダー(和製英語)	Nonbinary	性自認が男性や女性といったカテゴリーにあてはまらないと感じている人
クィア	Queer	あらゆる性のカテゴリーの当たり前を疑う考え方を支持する、あるいはその考え方を自身のアイデンティティとしている人
シスジェンダー	Cisgender	性自認が身体的性と一致している、性指向は問わない

身体の性について

インターセックス Intersex
DSDs (Differences of Sex Development)

染色体やホルモンなど様々な都合で身体がいわゆる「男」「女」に分化していない人。

なお、インターセックスという言葉に嫌がる当事者もあり、DSDsという表現が推奨されています。

アライとは？

アライとは、同盟を意味するallyを語源とする言葉で、性的マイノリティについて理解し、当事者を支援する人たちのことを言います。当事者やその家族の話聞いて、気持ちを受け止めるだけでもアライです。アライを表明するために6色の

レインボーグッズを飾ったり、身につけたりすることもあります。みなさんもぜひアライになって、誰もが差別されず、自分らしく暮らせるような世の中を作る手助けをしましょう。



カミングアウトとアウティングとは？

◆カミングアウトについて

カミングアウト (Coming Out) とは、「クローゼットの中から出ること」の意味で、これまで公にしていなかった自らのことを他の人に打ち明けることです。自らの病気や出生などいろいろなことが含まれますが、その一つに性自認や性的指向があります。カミングアウトには大きなリスクが伴うことがあり

ます。とくにそれが他人から差別を受ける可能性がある内容であるとき、慎重に行う必要があります。よかれと思ったとしても当事者にカミングアウトを強制してはいけません。あくまで本人の望む人に、望む時期に、自らの意志で行う必要があります。

◆もし、カミングアウトを受けたら

カミングアウトされたときにはどうすればいいでしょうか。カミングアウトされるということは、あなたはその人から信頼されているという証でもあります。もちろん、想定外であったときには驚いてしまうこともあるかもしれませんが、まずは相手が自分にカミングアウトしたいと思ってくれたという気持ちを受け止め、肯定的に捉えることが大事です。あなたにとってはそれが驚くことでも何でもなく「普通」のことで、カミングアウトされなくてもみんなに公平に接しているという人だったとしても、カミングアウトというのは信頼している人にだけできるとても勇気のいることですので、まずは「話してくれてありがとう」という気持ちを持ち、それを伝えることが大切です。

◆アウティングとは？

本人の了承を得ずに他の人に話してしまうことを「アウティング」(Outing)と言います。口頭で話すだけでなく、インターネットなどで不特定多数の人に情報を流す行為もアウティングに当たります。偏見や差別的な考えで他人の性自認や性的指向を言いふらすことは絶対に許される行為ではありませんが、当事者の状況がよくなるようによかれと思って他の人に話したとしても、性自認や性的指向のように未だ社会の中で差別されるようなことは、意図せず当事者を傷つけてしまうことがあります。もし誰かにアウティングされた場合には、一人で解決しようとせず、まずは学内の相談窓口 P.6 にご相談ください。アウティングは法的にパワハラであると定められていますので、状況によっては、警察や司法の介入が必要となることもあります。

カミングアウトされることはいつも、あなたに恋愛感情を持っているという告白であるとは限りません。カミングアウトされることと恋愛感情を持たれていることは別々に考える必要があります。相手から恋愛感情を持たれたけれども、あなたには恋愛感情はないと思うときには、それを伝えればいいのです。カミングアウトされたことで戸惑ってしまい、一人で抱えることができなくなってしまった場合には、まずは本人に誰にカミングアウトしているのか、誰に相談してもいいかを確認し、了承を得た上で相談しましょう。または、守秘義務のある相談員に相談してください。P.6 の相談窓口にご連絡ください。

アウティングの例






-  本人の了解を得ずに他の人に話す
Bさんがレズビアンで困りごとがあるらしいから相談にのってほしい
-  カミングアウトの強要
この人はLGBTについて理解があるから話しなよ!
-  勝手に噂をながす
Aさん、ゲイなんだって!
-  ほかの人も知っていると思い込んで話す
あの人はトランスジェンダーだもんね

②『長崎大学ハラスメント防止ガイドライン』について

本学のハラスメント防止委員会は他大学と比べても早い時期に「長崎大学ハラスメント防止ガイドライン」の中にLGBTの存在を否定する言動、LGBTに対する侮蔑、差別意識及び嫌悪感を含む言動、LGBTであること的人格利益を否定する言動といった「性的指向若しくは性自認に関する偏見関係」は「ハラスメントになり得る言動」と明記しています。



ハラスメントの例

-  LGBTに対する侮蔑、差別意識及び嫌悪感を含む言動。
(LGBTのタレントの名前をあげて)あいつキモいよな
-  LGBTの存在を否定する言動。
(LGBTは)この職場にはまさか居ないよな
-  主としてゲイ、トランスジェンダーに対する侮蔑表現、嫌悪感等を含む言動。
(仕草が女性っぽい男性職員に手を頬に当てて)お前こっちか、あいつはゲイじゃないか、オネェっぽい、ホモ、オカマ
-  法律上の結婚が認められないカップルもいることへの配慮に欠ける不適切な言動。
早く結婚しないのか
-  LGBTであることは本人の嗜好の問題ではなく、性的指向・性自認の問題であるが、そのことを理解せず、かつLGBTであること的人格利益を否定する言動。
男性・女性という2つの性分類を前提としていたり、好きになる相手が異性であることを前提とするなど、性の多様性への配慮に欠ける不適切な言動。
(LGBTであることをカミングアウトした当事者に対して)こちらに迷惑を掛けないで

出典:『長崎大学ハラスメント防止ガイドライン』

- ③ハラスメントになり得る言動
(3)性的指向若しくは性自認に関する偏見関係



<https://www.nagasaki-u.ac.jp/campuslife/life/advisement/check/guideline/index.html>

③ 表現ガイド

わたしたちが、ふだん何気なく使っている言葉の表現のなかには、ジェンダー、セクシュアリティなどに基づく偏見や差別意識がひそんでいます。そのことに気が付くことは、なかなか難しいです。また、そもそも言葉の成り立ち自体が男女差別を前提としており、性別にとられない表現を見つける

ことが難しい場合もあります。しかし、言った自分は悪気がなくても、その言葉を言われた相手は、傷つくことがあります。相手の表情や態度に注意深くなることが大事です。自分の言葉のあり方を少し意識して、誰にとってもやさしい表現を使えるようにしていきませんか。

◆ 避けたい表現&取り入れたい表現

性別を強調したり、主従関係や上下関係を含んだり、一つの性別に偏った呼称は避けたい表現を取り入れてみましょう。

避けたい表現	取り入れたい表現
〇〇くん／〇〇さんの使い分け	相手の性別にかかわらず「さん」に統一する。
英語のMr./Ms.の使い分け	使用する際には本人に何と呼んでほしいか確認する。英国では、ジェンダー・ニュートラルな敬称としてMx.もあります。
彼／彼女の使い分け	使用する際には本人に何と呼んでほしいか確認する。知っている人なら「〇〇さん」と名前と呼ぶ。知らない人の場合にはわかりやすい特徴で言う(例: 白いシャツの人)。男女双方含む表現にする(例: 平仮名で「かれら」と表現する)など
he/sheの使い分け	英語圏では近年、単数形のtheyが使われています。
ご主人・旦那さん・奥さん・嫁・家内	パートナー、お連れ合い、配偶者など。
帰国子女	帰国生

◆ あなたの表現をチェックしてみましょう

話す前に・メールを送る前に・文書を出す前に・・・ちょっと確認してみましょう。

- 性別に偏りのある表現になっていませんか。
- 性別、人種や民族、障がいの有無などで、固定的なイメージになっていませんか。
- 性別、人種や民族、障がいの有無などで、上下関係や強弱関係があるような表現にはなっていませんか。
- 性別、人種や民族、障がいの有無などで、不必要に異なる表現になっていませんか。
- 自分の中のイメージにとらわれずに、伝えたい相手にとって、伝わる言葉になっていますか。
- 自分の中のイメージにとらわれずに、話している相手の言葉を聴いていますか。

◆ 「あれ、この表現は大丈夫かな？」と心配になったら・・・

どう呼んでほしいですか？
この表現で違和感ありませんか？

この文面で、受け手は嫌な気持ちにならないだろうか

さっきの伝え方は、適切だったろうか

本人に聞いてみる

まわりの人に聞いてみる

もし間違った言動をとってしまったことに気づいたら素直に反省して謝罪する

ダイバーシティ推進センターにご相談ください。
☎ 095-819-2889

① 学内外の団体・他大学の取組

九州および関東・関西・中部地域のLGBT等性的マイノリティに関する団体やイベントをご紹介します。

地域	団体名	活動内容等	WEB
長崎	Partner's shoes	長崎大学公認サークル。当事者とアライの会。 Twitter: (@partners_shoes) Instagram: https://www.instagram.com/diversity__nagasaki_u/ E-mail: partners.shoes2020ngsk@gmail.com	
	Take it! 虹	セクシュアリティに関らず、全ての人が、自分らしく生きやすい社会を目指し活動している団体。講演会、交流会、映画祭、パネル展。 E-mail: popopopotter@yahoo.co.jp	
福岡	NPO法人 Rainbow Soup	福岡・九州を拠点に、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)関連の情報発信・啓発活動に取り組むNPO法人。	 <small>問合せフォームあり</small>
	FRENS Fukuoka Rainbow Educational Networks	居場所作り、啓発活動IDAHO(アイダホ)、講演、相談対応。 TEL: 080-9062-2416 (毎週日曜 17~21時)	 <small>問合せフォームあり</small>
	GID LINK Gender Identity Disorder LINK	性同一性障害当事者と家族、友人、学校や社会、地域を絆で結ぶ自助団体。講演、研修会。	 <small>問合せフォームあり</small>
大分	SOGIE(LGBT) サポートチーム ココカラ!	セクシュアリティ(性のありよう)のことで悩んでいる人と繋がることや啓発活動を行う。	 <small>問合せフォームあり</small>
熊本	くまにじ	セクシュアルマイノリティも生きやすい熊本にするために活動するグループ。行政への働きかけ、公開学習会、研修、講演、パネル展等。	 <small>問合せフォームあり</small>
鹿児島	レインボーポート 向日葵	LGBT交流会 TEL: 0993-24-5055 E-mail: life-support@ibutake.com	 <small>問合せフォームあり</small>

地域	団体名	活動内容等	WEB
東京 横浜	早稲田大学 GSセンター	学生に向けて、様々な活動・支援・情報を発信している。『LGBTQ+学生とアライのためのサポートガイド』を発行している。	
	国際基督教大学 (ICU) ジェンダー 研究センター(CGS)	ジェンダー・セクシュアリティに関する研究を発信している。	
	NPO法人 アカー 動くゲイとレズビアン の会	世田谷区、東京市民ボランティア活動 TEL: 03-3380-2229 (祝日を除く、火水木 20~22時) E-mail: occur@kt.rim.or.jp	
	認定NPO法人 ReBit	企業研修、行政研修など	 <small>問合せフォームあり</small>
	NPO法人 レインボーコミュニティ coLLabo	レズビアンと多様な女性(性的少数者)のための活動をするNPO法人。 TEL: 03-6322-5145 (毎月第1土曜日 13~15時)	
	NPO法人 ぶれいす東京	HIV/エイズとともに生きる人たちがありのままに生きられる環境(コミュニティ)を創り出すことをめざして活動している。相談、研修・講師派遣、イベント。 TEL [対面相談の予約窓口]: 03-3361-8964 (毎週月曜-土曜 12~19時)	
	特定非営利活動法人 SHIP	同性愛者や性同一性障害などセクシャルマイノリティの支援を行うNPO法人。イベントの開催、相談、資料室あり。 TEL [SHIP・ほっとライン]: 045-548-3980 (毎週木曜19~21時) TEL [カウンセリング予約]: 045-306-6769	

地域	団体名	活動内容等	WEB
東京 大阪	特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ	講演・研修、イベント、スキルアップ講座、調査研究、虹色グッズ販売など。	 <small>問合せフォームあり</small>
大阪	QWRC くおーく Queer and Women's Resource Center	2003年4月にオープンしたLGBTなどの多様な性を生きる人やその周辺にいる人と、女性のためのリソースセンター。集会場所の提供、イベント開催、講演活動、情報発信、電話相談など。 E-mail: info@qwrc.org	 <small>問合せフォームあり</small>
	にじいろホットライン 一般社団法人富田林市 人権教育・啓発推進 センター運営	あらゆる差別の撤廃と人権の確立に向け、人権文化を育て根づかせることを目的とする一般財団法人。人権教育啓発講座の企画サポート、電話相談など。 TEL: 0721-20-0285 (第1-3土曜日 10~15時)	 <small>問合せフォームあり</small>
名古屋 全国	NPO法人 PROUD LIFE	名古屋・東海地域で活動する多様な生き方を認め合う社会を目指すNPO法人。電話相談事業と、各自助グループサークルづくりの活動。 TEL [レインボー・ホットライン]: 0120-51-9181 (毎週月曜 19~22時)	
全国	一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と 共に生きる人々の会	当事者支援活動・理解促進啓発活動・調査研究活動・提言要望活動・その他(性同一性障害当事者保険加入機会拡充事業) TEL: 050-5236-1304 (10~17時)	 <small>問合せフォームあり</small>
	特定非営利活動法人 東京レインボー プライド	東京でプライドパレードを実施している。	
	株式会社Niji リクルーティング	LGBT等当事者の就職活動の支援など WEB: https://niji-recruiting.com/	

② 公共交通機関お問い合わせ先

長崎県営バス
☎ 095-822-5141 (運輸課)

長崎バス
☎ 095-826-1113

長崎電気軌道(路面電車)
☎ 095-845-4113

JR九州
☎ 095-822-0063
☎ 050-3786-5154 (お客様センター)



③ 役立つガイドライン・資料の紹介

男女共同参画局、2020『無意識の思い込み
(アンコンシャス・バイアス) -チェックシート-』
https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/pdf/seibetsu_r03/03.pdf



男女共同参画局、2020『無意識の思い込み
(アンコンシャス・バイアス) -事例集-』
https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/pdf/seibetsu_r03/04.pdf



文部科学省、2016『性同一性障害や性的指向・性自認に係る、
児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について(教職員向け)』
https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/04/1369211.htm



長崎県人権・同和対策課、2020『多様な性への理解と対応ハンドブック
一ちがいが尊重される長崎県をめざして』
※令和2年度人権啓発資料法務大臣表彰優秀賞受賞
<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/jinkenkeihatsu/lgbt/>



日本学生支援機構(JASSO)、2018『大学等における性的指向・
性自認の多様な在り方の理解増進に向けて(教職員向け理解・啓発資料)』
https://www.jasso.go.jp/gakusei/about/publication/lgbt_shiryu.html

